

## グリーティング

七月のこの覧でご紹介した相模川上流は、今も釣り人で賑わっていますが、もう少し歩いていくと、中洲に田んぼが広がっています。田植えのあとは苗が整然と並び、水田を渡る風の気持ちよさが何とも言えません。暑くなると、背丈が伸びた稲が風に波打つ様子も素晴らしい景色です。稲穂に実がつく頃には、面白い光景が広がります。地元の小学生たちが作った「案山子・カカシ」が並ぶのです。ペットボトルやダンボール、着古したTシャツなどをうまく使ってできたおしゃれで愉快的な案山子たちです。あまりの力作揃いに、時間のたつのを忘れて、約束に遅れそうになったことがありました。稲刈りが終わった今は、「豊作だったかな？ 今年のお米はおいしいかな？」と思いつつ歩きます。季節の流れを感じるひととき、いい散歩道です。

S.K



## 技工情報

### ◎レジンコアと鑄造コアについて

今回は、レジンコアと鑄造コアについて、どちらを選択する？という事について双方の特徴を踏まえて、ご紹介したいと思います。基本的にコア(支台築造)とは、う蝕や外傷によって生じた歯冠歯質における欠損を、形成材料や金属によって、歯冠修復装置を装着することの出来る適切な支台歯形成にすることとなります。以前は、主に金属を用いた鑄造支台でしたが、近年においてはファイバーコアといったレジン製のコアも増えてきています。

### ◎レジンコアと鑄造コアの目的は

一般的に、歯根歯折の観点からすると健全歯質の保存、歯質に於ける応力集中をさけられるレジンコアが有利と思われます。しかし、歯冠部歯質が少ない、又はまったくない根面状の症例では、鑄造コアを選ばなければならぬこともあります。

	レジン支台築造	鑄造支台築造
健全歯質の保存	◎	×
確実性	△	○
機械的強度	△	◎
象牙質に対する弾性係数	○	×
歯質における応力集中	○	×
吸水性・溶解性	×	◎
審美性	○	×
歯肉・歯質の着色	○	△

	レジン支台築造	鑄造支台築造
再根管治療の難易度	○	△
金属アレルギー	○	×
経済性	△	×
硬化時収縮	有	—
技工操作	無(直接法) 有(間接法)	有
来院回数	1回(直接法) 2回(間接法)	2回